

令和3年10月11日

「第34回日本道路会議」の開催

11月4日(木)～11月5日(金)、第34回日本道路会議を開催しますので、お知らせします。

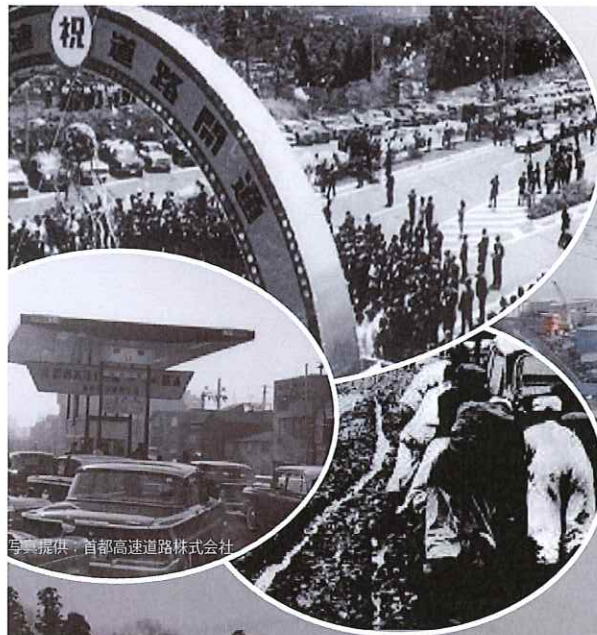
本会議は、道路の行政、建設、維持管理、都市計画及び道路交通に取り組んでいる全国の関係者等が参画し、道路に関する広範な問題について研究成果の発表や事例報告を行い、意見交換するとともに、広く道路の役割を発信し、広く道路への理解を深めて頂くために、2年に1度開催される、我が国最大の会議です。

記

- 1.会 期 :令和3年11月4日(木)～令和3年11月5日(金)
(オンデマンド配信期間 :令和3年11月15日(月)～令和3年11月30日(火))
- 2.開催場所 :都市センターホテル(東京都千代田平河町2-4-1)
- 3.開催形態 :<発表者>原則、現地会場 <聴講者>WEB配信(ライブ配信、オンデマンド配信)
- 4.内 容 :「別紙」を参照
- 5.主 催 :公益社団法人 日本道路協会
- 6.後 援 :国土交通省
- 7.参加費 :一般10,000円 学生3,000円 WEB配信での聴講のみ(ライブ配信、オンデマンド配信)
<申込方法>
 - ・ライブ配信での参加希望者の方は、令和3年10月末日までに、日本道路協会ホームページよりお申込み下さい。
 - ・オンデマンド配信での参加希望者の方は、日本道路協会ホームページよりお申込み頂き、令和3年11月15日(月)からご覧頂く事ができます。
 - ・WEB配信のURLは、会期が近づきましたら参加申込者の皆様にお知らせいたします。
 - ・通信状況等によって、映像の乱れや一時的な停止などが発生する可能性がありますこと、あらかじめご了承願います。
- 8.取 材 等 :取材をご希望される報道機関の方は、10月29日(金)17時までに、氏名、所属、連絡先をメールにてご送付下さい。
送付先: morita@road.or.jp

<問い合わせ先>

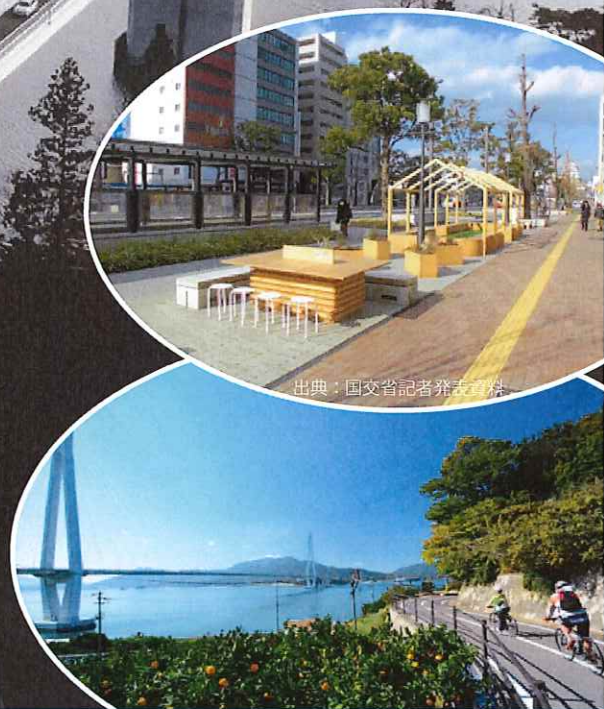
公益社団法人 日本道路協会 曾我、森田
TEL03-3581-2211、FAX03-3851-2232



写真提供：首都高速道路株式会社

第34回

日本道路会議



出典：国交省記者発表資料

WEB 配信

発表者は基本現地会場※、聴講者はWEB配信のみの参加による開催を予定しております。

※WEB参加も可。ポスターセッションは全てWEB発表。

■日程：令和3年11月4日 木 ~ 5日 金

■会場：都市センターホテル

■オンデマンド配信：令和3年11月15日 月 ~ 30日 火

産学官関係者による パネルディスカッション

- 脱炭素社会の道路の利活用
- 次世代モビリティの実装と地域デザイン
- 道路システムのDXがもたらす社会革新
- 高速道路ネットワークは次なる半世紀へ～新たな日本文明の創造に向けて～
- 子どもをはじめとする地域の安全・安心に向けて
- PIARC（世界道路協会）の取組ワークショップ～TC4.4トンネルでの取組（共催）～

■参加費

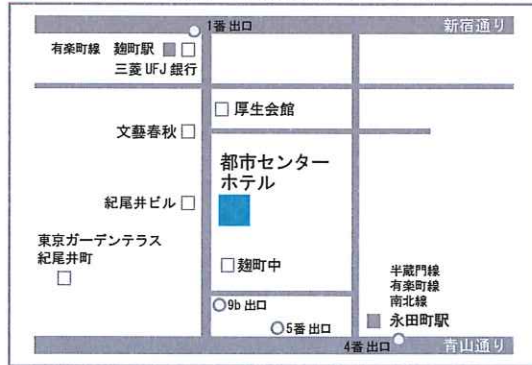
個人/[学生] 3,000円
[一般] 10,000円

賛助団体/お問い合わせください

■問い合わせ先

〒100-8955
東京都千代田区霞が関3-3-1 尚友会館7階
公益社団法人 日本道路協会
第34回 日本道路会議事務局
TEL.03-3581-2211
E-MAIL.dourokaigi@road.or.jp

■アクセス 住所：東京都千代田区平河町2-4-1



- 東京メトロ有楽町線「麹町駅」半蔵門方面1番出口より徒歩4分
- 東京メトロ有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」4番・5番出口より徒歩4分 9b番出口より徒歩3分

主催：公益社団法人 日本道路協会
後援：国土交通省

土木学会 CPD の対象プログラムとなります。

詳しくは日本道路会議ホームページをご覧ください。



激変する社会・経済の中でのこれからの道路の役割 ～カーボンニュートラル、DX、持続可能な社会（SDGs）～

● 次世代社会実現のための道路のあり方

■ 脱炭素社会の道路の利活用

11月5日 16:00～18:00	基調講演 講演者: 埼玉大学工学研究科 久保田 尚 教授
	パネルディスカッション コーディネーター: 埼玉大学工学研究科 久保田 尚 教授 パネリスト: 学識経験者、行政関係者、自治体関係者、民間企業等

- ▶ 道路に求められるニーズは多様化しており、これからはカーボンニュートラルやコロナとの共生を踏まえた道路の利活用が求められている。
- ▶ ほこみちによる人中心の道路空間の創出や自転車の利用促進、シェアリングなど脱炭素社会における道路の利活用について議論する。

■ 次世代モビリティの実装と地域デザイン

11月5日 10:00～12:00	基調講演 講演者: 東京大学大学院 福田 大輔 教授
	パネルディスカッション コーディネーター: 東京大学大学院 福田 大輔 教授 パネリスト: 学識経験者、行政関係者、自治体関係者、民間企業等

- ▶ 自動運転やMaaSの実装、EV車等によるカーボンニュートラルへの貢献は、人口減少下における移動の確保や魅力ある都市空間づくりなど、持続可能な地域を実現するために必要不可欠である。
- ▶ モビリティ関連企業、エリアマネジメント団体、金融機関の新たなモビリティを活用した先進的な取り組みから、地方及び都市における道路のあり方や多様な主体の連携による持続可能な地域づくりの推進について議論する。

■ 道路システムのDXがもたらす社会革新

11月5日 13:00～15:00	基調講演 講演者: 東京大学 小澤 一雅 教授
	パネルディスカッション コーディネーター: 東京大学 関本 義秀 教授 パネリスト: 学識経験者、行政関係者、自治体関係者、民間企業等

- ▶ 国民生活や経済活動の生産性向上に向け、それらを支える基幹インフラである道路分野のDX推進が重要である。
- ▶ 最新の技術動向、道路システムのDXの将来像、ビッグデータの民間活用への期待などについて議論する。

■ 高速道路ネットワークは次なる半世紀へ～新たな日本文明の創造に向けて～

11月4日 10:15～12:00	パネルディスカッション コーディネーター: 筑波大学 石田 東生 名誉教授 パネリスト: 民間企業及び大学から識者 6名
----------------------	--

- ▶ 1969年、東名高速道路が全線開通。それから半世紀、高速道路ネットワークが我が国にもたらした構想・計画当時の予測を超えるインパクトを多様な視点から振り返る。そして、次の半世紀、「グリーン」や「デジタル」等を基軸とする新たな社会システムを支えるインフラであるために、高速道路ネットワークに期待する役割や進化の方向性を議論する。

● 国内、国外の最新状況の情報提供

■ 子どもをはじめとする地域の安全・安心に向けて

11月4日 13:00～15:00	基調講演 講演者: 千葉工業大学 赤羽 弘和 教授
	パネルディスカッション コーディネーター: 千葉工業大学 赤羽 弘和 教授 パネリスト: 埼玉大学 小嶋 文 准教授 地方公共団体、国交省

- ▶ 子どもが被害を受ける悲惨な交通事故は、いまだ後を絶たない。令和3年3月に策定された第11次交通安全基本計画においても人優先の安全・安心を基本理念としている。
- ▶ 事故の教訓を踏まえつつ、政府の計画や対策等の動向、今後の生活道路における人優先の安全確保に向けた課題や地域の取組について議論する。

■ PIARC（世界道路協会）の取組ワークショップ～TC4.4トンネルでの取組（共催）～

11月4日 16:00～18:00	パネルディスカッション モデレーター: 東京都立大学 砂金 伸治 教授 パネリスト: 海外からの有識者、学識経験者、行政関係者、自治体関係者、民間企業等 ※同時通訳あり
----------------------	---

- ▶ 現在、PIARCにおいて、日本は多くの技術委員会（TC）等に参加し、日本の技術を世界に周知するとともに、技術の研鑽を進めている。
- ▶ 実際のPIARCの活動を広く知って頂くべく、PIARC TC4.4トンネルのワークショップと共催し、同TCでの最新の取組について議論する。

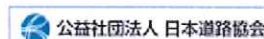
● 一般論文・事例報告発表

■ 口頭発表（現地発表・WEB）	11月 4日	13:00～16:45
	11月 5日	9:30～16:30
■ ポスターセッション（WEB）	11月 4日	13:00～16:45
	11月 5日	9:30～14:30

- 道路の計画・設計から施工、維持管理にわたる幅広い分野の最新の研究成果や現場での優れた取組が報告されます。
- 各会場では報告内容を題材に活発な意見交換や討議が行われます。

今回は現地会場+Zoomを用いたWeb配信で開催いたします。発表者は基本現地会場、聴講者はWeb配信のみの参加による開催を予定しております。当日の講演・発表は、会期終了後、オンデマンド配信を行う予定です。WEB配信のURLは会期が近づきましたら参加申込者の皆様にお知らせいたします。

聴講申込期限：2021年10月末日



↑ここをクリック！

